

視察内容報告書

1. 調査実施日 : 令和4年8月7日、8日
2. 参加議員 : 小山仁志、清水正康
3. 日程・場所 : 7日 16:30~18:00 佐久平駅周辺
8日 09:30~11:30 軽井沢観光協会、THE CIRCLE KARUIZAWA
13:00~14:15 はたらクリエイト佐久オフィス
14:45~16:10 佐久大学(学校法人 佐久学園)
4. 調査内容 :

(1) 佐久平南地区開発について

新幹線開通後の開発と発展について過去の資料と現状を比較し、現在建設中のリニア中央新幹線の効果をどう活かすか、現地調査と意見交換を小山、清水で行う。

特に開通後の固定資産税が100倍以上になった話や人口増の現状より、駅周辺の集中開発に批判はあっても、「稼ぐエリア」として一定の投資は必要と考える。



(2) これからのテレワークについて



軽井沢観光協会・軽井沢リゾートテレワーク協議会の工藤事務局長、THE CIRCLE KARUIZAWAの渋谷コミュニティマネージャーより最近の動向、今後の展開への考え方、それぞれの企画運営について、、、など説明を受け、意見交換を行う。

2018年に軽井沢に縁のある(別荘を持っているなど)の東京都つながりを持った方を巻き込み、軽井沢リゾートテレワーク協議会を設立し、IT系、クリエイティブな人などが軽井沢に集まった。THE CIRCLE KARUIZAWAもその中から生まれ、ちょっとおしゃれな公民館を目指したクリエイティブな空間でつながる多様な個性、そこから創出されるイノベーションへの展開力、その柱にあるホスピタリティなど、大きな可能性を感じた。

明治時代からこういったサロン文化を培ってきた軽井沢と同じことは無理でも、地域にある人材を活かした取組みを参考にしたいと考える。



(3) 女性の就業について

株式会社はたらクリエイトの井上代表取締役より、女性がライフステージやライフスタイルに応じて徹底して楽しく働けるスタイルなどについてお話を伺う。共に成長できるスキルアップの段階的なステージが用意され、行政的な単なるセミナー委託に終わらない人材育成がなされている。県内では、製造業などの求人が多く、単金が上がらないことや時間制限もあり、今は首都圏の企業からの仕事が多い。長野県はものづくり県であり、産業構造的にデジタル人材の育成が不得手であり、企業も育てることができない。はたらクリエイトは、付加価値が生まれにくい領域、企業が取り組むことが出来ないエリアを担う。ある意味民間の職業訓練校である。OJT を意識し、学び時間も業務時間に含める。地場産業や建設業からも IT の業務委託を受け、できるところから DX を進め、全体を DX したい。



・・・ライフステージに合わせた、また業種に合わせた展開など、女性の活躍をしっかりと支援していると感じた。

(4) 人間福祉学部設置、地域連携、高等教育振興等、大学運営全般について



学校法人佐久学園の盛岡理事長、堀内学長、秋山事務室長よりご説明を頂く。大学進学率が低い長野県の大学として人間福祉学部を設置するなど新しい取り組みにチャレンジしている。少子化もあり運営的には厳しい状況もあるが、大学は若者を引き込む大きなコンテンツであるので、県内外に広く認知され、進路先として選択されることを期待する。特に高校生へのアプローチについては、県も支援をすべきと考える。また、リカレントの場としての利用、外国人技能実習生の学びの場としての利用など地域への貢献も更に検討すべきと感じた。

5. まとめ

移住した方を含め、地域の人財をしっかりと掘り起こし、さらなる人財を確保することで、人が人を呼び、地域の活力になると改めて感じた。

また、地域の人に対しての学びの場の提供とそこに行きやすい情報提供も、更に行う必要があると考える。

県として、地域としてどう関わるか、、、積極的に関わるよう支援したい。